



「ママが働く」を考えよう！

一般社団法人 ママとね

【事業背景および目的】

女性活躍は、今、国家的にも喫緊の課題である。しかし、とくに産後の女性にとっては子育てしながらの情報収集は時に難しく、社会復帰に不安を抱える母親も少なくない。

また、母親の仕事復帰に関して、母親目線での講座・事業は近隣に見当たらない。

そこで、沼津在住または出身の、働く先輩ママをパネリストに、そして、地域の受け入れ側の企業も招いて、「ママが働く」ことに対する問題点の洗い出し、解決のシェアを提案する講座を企画した。

「ママとね♡」とは・・・

出産後に静岡県東部に転入し、孤独育児を経験したママ二人が2014年2月に立ち上げた母親支援団体。2017年4月に法人化（非営利型 一般社団法人）。

静岡県東部の子育て情報サイト「ママとね♡」の企画運営のほか、子育て応援詩集「トツキトウカSHI ZUOKA EAST」の企画発行、リアルな繋がりがづくりのための各種座談会・講座なども開催。
徹底的な“ママ目線”にこだわり、地域とのつながりを大切に活動している。



【パネリスト】

先輩ママ： 正社員2名（それぞれ、時短およびフルタイム経験あり）
パート勤務 1名

企業側： マックスバリュ東海さま2名、総合美容グループ エス.様1名
ファシリテーター： ママとね より1名

【講座内容】

参加者は働き方によってグループ分けをし、意見だしや発表を行った。

① 家事・育児との両立

問題点、不安点を各グループで話し合った後に、グループごとに発表しシェア。具体的には、**両立における工夫、親・夫に頼るためのコツ、子どもの預け先の選定**などのテーマ別で行った。その後、先輩ママ・パネリストから自身の体験やアドバイスを、雇用者側からの意見もいただいた。

②自分にとって「働く」とは何か？

各個人で考え、洗い出したうえで、仕事と家庭・育児の**両立において、一番大切にしたいものは何かを考えるヒント**にもらった。

③交流会： 産後の復帰が非常に難しい飲食業界でワークシェアにより活動を実現している日本ウーマンズシェフ&パティシエ協会(wcp)から自身の体験を語ってもらい、その後、参加者同士の交流を深めてもらった。



【参加者の感想】

「先輩ママからの『子育てを理由に自分のキャリアを後回しにしない、今できることは何か考える』という言葉に励まされました。」
「働き方を含め、家族の**将来について考えるきっかけ**になりました。」
「自分の人生に後悔しないようにしたいです。」
「同じ悩みを持ちながらも、様々な方法で乗り越えている話を聞き、心も軽くなりました。」など。

【今後の展開】

今回の講座は、申込受付が3日で定員となったことから見ても、「ママが働くこと」への関心の高さがうかがえる。
平成30年度もファンド採択事業として開催することが決定しており、次の段階として、実際に復職に際し上司や同僚、あるいは家族と「何を」「いつ」相談しておくべきなのか、ほかに準備すべきものは何かなど、具体的な内容を盛り込んだ「ワークショップ」とし、先進的な企業の取り組み内容の紹介なども併せて行う予定である。

平成29年度 民間支援まちづくりファンド採択事業

